

アイナロ県ムロ村（2017年完成） 2017年視察先

概要

建設期間は2016年10月～2017年8月。7ヶ所の水場のうち、5ヶ所が集落内に設置され、学校と保健センターにそれぞれ1ヶ所ずつ設置されました。37世帯222人の村人、228人の生徒と先生が恩恵を受けました。学校では、農業の授業が始まりました。

村には6人のメンバー（男性4人、女性2人）からなる水管理委員会が設立され、村人自身による持続可能な水源を運用・維持を目指します。



コミュニティが直面する問題

とても貧しいため、設備維持費の徴収は年1回、コーヒー豆の収穫後だけしかできないこと。



2017年撮影 水源地のタンク



2017年撮影 出来た水場で水を飲む子

エルメラ県タリモロ村（2019年完成予定） 2018年視察先

概要

材料が調達でき次第、給水施設の建設にとりかかります。集落53世帯355人、学校の生徒200人と8人の先生が恩恵を受けます。また、水が通っていない他の集落にも水を分ける予定です。



コミュニティが直面する問題

一部の家には赤十字の支援で水が通っており集落内で不平等が発生している。



2018年撮影 学校



2018年撮影 水源地

エルメラ県ハツガウ村（2018年完成） 2017/2018年視察先

概要

建設期間は2018年4月～2018年10月。2つの集落に暮らす89世帯552人の村人、2つの学校の524人の生徒と16人の先生が恩恵を受けました。集落内には13ヶ所の水場が作られ、保健センター1ヶ所にも水が通りました。皮膚病の患者が減ったことに加え、水が来たことで、医師が治療できる範囲が増えました。



村には6人のメンバー（男性3人、女性3人）からなる水管理委員会が設立され、村人自身による持続可能な水源を運用・維持を目指します。

今コミュニティが直面している問題

とても貧しいため、設備維持費の徴収は年1回、コーヒー豆の収穫後だけしかできないこと。



2017年撮影 水源地での皿洗い



2017年撮影 村の雨水タンク



2018年撮影 村での皿洗い



2018年撮影 水源地の給水施設のタンク

エルメラ県ウラホー村（2017年完成） 2016/2017/2018年視察先



概要

建設期間は2016年11月～2017年5月。2つの集落に暮らす80世帯449人の村人、1つの学校の214人の生徒と先生が恩恵を受けました。集落内には、15ヶ所の水場が作られ、子供と女性は、山への水汲みから解放されました。子供が学校に通い、勉強ができる時間ができました。

村には6人のメンバー（男性4人、女性2人）からなる水管理委員会が設立され、村人自身による持続可能な水源を運用・維持を目指します。

コミュニティが直面する問題

とても貧しいため、設備維持費の徴収は年1回、コーヒー豆の収穫後だけしかできないこと。



2016年撮影

←水源

↑水汲みの様子

↑学校に一番近い村のトイレ



2017年撮影 村の水場

2017年撮影 洗濯する子

2017年撮影 学校に新設されたトイレ



2018年撮影 手洗い場

2018年撮影 畑作を始めた人

2018年撮影 魚の養殖を始